

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2018年44号（平成30年1月）

剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会 長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール nakamichi3303@outlook.jp

謹賀新年



門松や おもへば一夜 三十年

松尾 芭蕉

去年（こぞ）今年 貫く棒の 如きもの

高浜 虚子

新年を迎え会員の皆様は今年目標等決意を新たにされてある事と思います。九州地区クラブの今年初の1月例会は恒例の「湯の坂道場」にて開催しました。今年初の例会は、遠く沖縄から奥島憲彦会員が参加して戴き、八段の先生方を含めて総勢29名の参加がありました。

例会の初めに加野会長より「今年も健康で剣道が出来る喜びを感じながら剣道を楽しみましょう。今日ご出席の緒方仁司先生（教士八段・今年92歳）を目標にして会員全員が今年1年間健康であり、各人の目標を達成できる事をお祈り致します!!」と年頭の挨拶を頂き例会を開始しました。

最初の30分は会員同士の相互稽古、後の1時間は八段の先生による指導稽古をして頂きました。稽古会の最後に尾方正照先生（範士八段）より、「今年は各人目標を持って下さい。目標達成のために努力を続ければ必ず達成します!!」と激励を頂きました。

また、一つ目は「三磨の位」で“習”“工”“錬”を常に頭に入れ稽古する事。

二つ目は「心の三あ鉄則」“あわてない”“あせらない”“あきらめない”という強い気をもって稽古すべし!!という訓示を頂きました。

。続いて野口慎一郎先生（範士八段）より「剣道は一挙に上達するものではありません。尾方先生が言われたように“習”“工”“錬”を繰り返し繰り返し稽古をして例えば、紙を

一枚一枚重ねる如く続けていけばいつの間にか大成するものです。」と 訓示を頂きました。お二人の訓示は大変貴重なもので、本当に有難うございました。



平成 30 年 1 月例会のご報告

稽古会

日 時 : 平成 30 年 1 月 20 日 (土) 13:00~15:00

場 所 : 久留米温泉会道場 (湯の坂道場)

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)412

稽古会出席者 : 29 名 (敬称略・順不同)

尾方 正照	野口慎一郎	緒方 仁司	小島 良守	山田 雅士
加野 資典	大塚 勝也	佐藤 博喜	秋山 勝年	大隈 光夫
西田 耕陽	小林 正憲	八郷 清孝	廣松 守正	松崎 文雄
奥村 國弘	田中 義勝	小川 邦昭	西見 秀俊	溝口 勝正
園田 智弘	祐田 齊	日高 久光	渡邊 寛二	奥島 憲彦
宮田 和裕	野口 憲一	中道 政生	下林 (オブザーバー)	



加野資典会長



尾方正照先生



野口慎一郎先生



稽古風景

稽古終了後、久留米温泉にて新年会を開催しました。参加者は八段の先生を含めて19名でした。剣道談話に話が尽きませんでした。

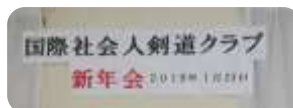
新年会

日時：平成30年1月20日(土) 18:~20:00

場所：久留米温泉

新年会出席者：19名 (敬称略・順不同)

尾方 正照	野口慎一郎	緒方 仁司	小島 良守	山田 雅士
加野 資典	大塚 勝也	佐藤 博喜	秋山 勝年	日高 久光
大隈 光夫	小川 金吾	廣松 守正	橋本 正照	松崎 文雄
小川 邦昭	野口 憲一	渡邊 寛二	中道 政生	



平成30年2月例会のご案内

稽古会

日時：平成30年2月10日(土) 15:00~16:30

場所：久留米温泉道場 (湯の坂道場)

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4

【日本剣道形稽古会】 (久留米温泉道場にて)

※今回より例会の前 Pm 2:00~3:00 まで日本剣道形の稽古会を始めます。自由参加ですが、希望される会員の皆様は木刀ご持参の上ご参加下さい。

《連絡事項》

- ①毎年2月例会の前に「役員会」を開催していましたが、今回は諸般の事情にて3月に変更致します。役員の方はお間違えの無いようにお願いします。
- ②現在、年会費の未納の会員が数名おられます。ご確認の上至急振り込みをお願い致します。
- ③今年も会報“剣志”の充実を図りたいと考えております。ご希望や要望がありましたら、幹事長、事務局にご連絡頂けたら幸甚です。
- ④2月例会より Pm2:00~3:00 に日本剣道形の稽古会を始めます。自由参加で参加ご希望の方は木刀ご持参の上ご参加下さい。
- ⑤現在メール会員数は20名です。パソコンのメールアドレスをお持ちの方は登録をお願いします。経費削減のためご協力をお願いします。(事務局の中道までご連絡貰えればこちらで対処します)

私と剣道

新年の第一号は、熊本県玉名市在住の小島公生先生をご紹介します。

小島先生は中学校より剣道を始められ、現在、剣道教士7段・65歳。

地元へ帰省されて、地元中学校のクラブ活動で剣道を8年間指導されました。

今でも教え子より連絡あるそうです。

小島先生よりお預かりした原稿をそのまま掲載させていただきます。



「私と剣道」

小島 公生

私が剣道を始めたのは、中学に入学してからで、それから高校、大学と当然のように？部活で頑張ったものです。特に強豪校というわけではなかったんですが、今では当時の稽古が懐かしく思い出されます。

大学では当初、道場も無く、グラウンドの隅で石ころを取りやっていた。私の大学は、現在、「崇城大学」といいますが、当時は「熊本工業大学」で工学部のみで、大学創生期で私が五期となります。本当に剣道の好きな人の集まりで私の入学と同時に剣道部も発足しています。

大学2年の時、熊本武道館ができたのを幸に武道館をホーム道場として稽古が出来ることになり剣道に対する考えや剣道そのものが、それまでとは大きく変わりました。それは、武道館での指導が師範の一川格治先生の指導であると強く感じています。他にも多くの先生との出会いがあり今の自分の剣道に大きく作用している事に間違いありません。大学を卒業して関西に就職した時も防具は持参し近所の高校で稽古したり、奈良では当時本社があった大和郡山での個人戦に出場して準優勝の事が社内新聞に記載され、以後仕事に大いに助けられました。

その後都合で玉名に帰省することになりました。地元の公立病院に勤務している時、中学校の剣道指導をしてもらえないかと話しがあり部活の指導者となりました。

当時は無我夢中でした。まだ三段のまま指導者として生徒に片身の狭い思いはさせられないと

九年振りに四段を受験し合格した時、一川先生から「剣道が少しわかってきたな。いまの稽古を続けなければ七段まではいいぞ」と言われ、また頑張ろうと思ったものです。

その中学校は八年間部活の指導をし、その内に五段まで取ることが出来ました。本当に今あるのはあの時の部活と生徒のお陰であると言えます。

現在は病院を退職し剣道を楽しみとして稽古をしています。

勝ち負けに囚われず楽しむ事をモットーに。先月は年に1回稽古して飲む事を楽しみにしている方と来年もまたと言って握手した事。

山口から稽古に行くよと言われてたり、本当に剣道人とのお付き合い、出会いが何よりの喜びが剣道で得た最大の事と思うこの頃です。

多くの先生にご指導頂いたことを子供達に伝達出来ればと考えます。

一言

「八風吹不動」八風吹けども動ぜず天辺の月

数年前に範士の先生が学生に訓示された事が強く心に残っています。もっと早く出会いたかった一言です。

人生には良い事も悪い事もあるが、自分を見失わず、心の根を強く生きると言うことかと思えます。

